

令和7年度第8回川崎市社会教育委員会 定例会

日 時 令和8年3月23日(月)
18:30～20:30
場 所 中原市民館 多目的ホール

次 第

1 開会(18:30～18:35)

2 協議事項

(1) 令和8年度社会教育関係団体への補助金交付について 【資料1】
(18:35～19:05)

(2) 大ホール優先申請利用調整会議委員の選出について
(19:05～19:15)

(3) 令和8年度生涯学習推進活動方針(案)について 【資料2】
(19:15～19:30)

(4) 令和6・7年度社会教育委員会活動報告(案)について 【資料3】
(19:30～19:45)

3 報告事項

(1) 指定管理施設からの報告について
(高津市民館・橘分館・中原市民館)
(19:45～20:15)

【資料4】

(2) 専門部会報告(20:15～20:25)

4 その他(20:25～20:30)

5 閉会(20:30～20:35)

※()内は質疑応答を含む想定時間

① 川崎市PTA連絡協議会

代表者： 会長 宮下 大志

補助金の名称	川崎市PTA連絡協議会活動補助金
補助効果等	各種事業の実施や、各種大会・研修会への参加を補助することにより、川崎市内のPTAの効果的な活動の推進を図り、川崎市立学校の児童・生徒の健全育成とPTAの地域教育活動の充実に寄与することを目的とする。 ・PTA研修会 ・ICT学習会 ・食育推進コンテスト ・ホームページ運営 他
団体の概要	所属単位PTA数：157団体 (小学校105、中学校49、小中学校1、特別支援学校2) 会費額：会員世帯・会員教職員 70円(年額)
令和8年度補助金額	1,816千円
増減額	0千円

(参考)補助金額の推移

収入	令和6年度(予算)	令和7年度(予算)
補助金額	1,816千円	1,816千円
総収入	9,404千円	10,246千円

支出	令和6年度(予算)	令和7年度(予算)
補助対象事業費	4,800千円	4,950千円
総事業費	9,404千円	10,246千円

補助金の割合	19.3%	17.7%
--------	-------	-------

※補助金の割合＝補助金額÷総事業費

令和8年度社会教育関係団体への補助金交付一覧

② 川崎市青少年育成連盟

代表者： 理事長 大津 博之

補助金の名称	川崎市青少年育成連盟補助金
補助効果等	近年の子ども・若者を取り巻く社会環境の変化に伴い、青少年の社会活動への参加が減少傾向にある中、長年にわたり青少年を育成・指導した実績のある団体により構成された川崎市青少年育成連盟の活動等を支援することで、青少年の社会参加が促進され、これからの社会を担う青少年の健全育成の推進につながる。 (主な実施事業) ・構成団体の活動の推進 ・団体リーフレット、育成連盟だよりの作成 ・ジュニアリーダーの養成 ・青少年フェスティバル等への参加 など
団体の概要	所属団体数：4団体 ・一般社団法人川崎市子ども会連盟 ・日本ボーイスカウト川崎地区協議会 ・ガールスカウト川崎市連絡会 ・川崎海洋少年団 関係会員数：20,254人(令和6年度 20,683人 令和5年度 20,719人)
令和8年度補助金額	7,793千円
増減額	0千円

(参考)補助金額の推移

収入	令和6年度(予算)	令和7年度(予算)
補助金額	7,793千円	7,793千円
総収入	8,515千円	7,829千円

支出	令和6年度(予算)	令和7年度(予算)
補助対象事業費	7,829千円	7,793千円
総事業費	7,829千円	7,829千円

補助金の割合	99.5%	99.5%
--------	-------	-------

※補助金の割合＝補助金額÷総事業費

令和8年度社会教育関係団体への補助金交付一覧

③ 川崎市総合文化団体連絡会

代表者： 理事長 中村 紀美子

補助金の名称	川崎市総合文化団体連絡会補助金
補助効果等	川崎市総合文化団体連絡会加盟9団体への助成を通して、地域で実施されている市民の多彩な文化芸術活動を振興し、市民の相互交流と市民文化の向上を図る。 ・川崎市総合文化団体連絡会事業 かわさき市民芸術祭(美術、舞台部門)、機関誌「文化かわさき」の発行他 ・加盟団体事業 各区文化祭、こども芸術祭、芸術文化イベント、各文化講座、機関誌の発行他
団体の概要	所属団体数： 9団体 (川崎市文化協会、川崎文化会議、各区文化協会7) 関係会員数： 約14,000人(令和6年度 約15,000人 令和5年度 約15,000人) 会 費 額： なし(所属団体ごとに会費徴収あり。団体会員7,000円～12,000円程度。 個人会員3,000円～6,000円程度。)
令和8年度補助金額	8,910千円
増減額	0千円

(参考)補助金額の推移

収入	令和6年度(予算)	令和7年度(予算)
補助金額	8,910千円	8,910千円
総収入	27,060千円	27,250千円

支出	令和6年度(予算)	令和7年度(予算)
補助対象事業費	25,866千円	26,778千円
総事業費	27,060千円	27,250千円

補助金の割合	32.9%	32.7%
--------	-------	-------

※補助金の割合＝補助金額÷総事業費

令和 8 年度川崎市生涯学習推進活動方針（案）

1 めざす社会像

民主主義の精神にのっとり、平和と基本的人権を尊重し、市民が自ら考え、学びを創造するとともに、多様性を認め合い、互いにつながり合い、共に高め合いながらその成果を地域に還元することのできる、持続可能な社会の実現をめざします。

2 基本方針

超高齢社会の到来を見据え、市民の暮らしの向上と地域社会の持続的発展のための学びを推進するため、10年後の未来に向けて「人生 100 年時代の生涯学習社会の実現～生涯を通じた学びと成長～」という理念を掲げ、総合的に施策を展開し、「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」の推進を図りながら、持続可能な地域づくりと安心して暮らし続けるしくみづくりを進めます。

「人生 100 年時代の生涯学習社会の実現」
～生涯を通じた学びと成長～

3 重点的に取り組むテーマ ～Key Project～

生涯を通じた「学び」と「学び合い」社会の実現

（1）生涯を通じた「学び」の環境の充実

市民館・図書館を核とし、「学び」を通じた「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を進め、生涯を通じた「学び」を通して、自立や成長が図られる生涯学習社会の実現を推進します。

（2）「学び合い」社会の実現に向けたしくみづくり

幅広い市民が自身の個性や「学び」を「気軽に」「前向きに」発揮できるしくみづくりや、社会教育と学校教育が一体となって、次の取組を進めます。

4 施策

(1) 地域と学校の連携・協働

【施策の目標】 地域と学校が連携・協働し、子どもの学びを支える環境づくりが進んでいる

【取組の方向性】

- ・コミュニティ・スクールを通じて子どもたちが身につける資質・能力を地域社会と共有し、地域と一体となって子どもたちを育成する取組の推進
- ・地域の多様な人材やさまざまな物的資源等を活かした、地域の教育力の向上を図る持続可能なしくみの構築と朝の居場所づくりの推進
- ・「もっと使ってもらう」「使いやすくする」「みんなで使う」の3つを基本コンセプトとした地域における学校施設の更なる有効活用に向けた取組の推進

(2) 生涯学習の推進

【施策の目標】 市民の主体的な学びと、学びを通じたつながりが広がっている

【取組の方向性】

- ・「今後の市民館・図書館のあり方」を踏まえ、学びを通して、人・つながり・地域づくりを支える生涯学習の拠点をめざした市民館の取組の充実や、市民にとって役立つ、地域の中で頼れる知と情報の拠点をめざした図書館の取組の充実
- ・市民館・図書館等の利用環境の向上や、老朽化対策など、市民の生涯学習を支える環境整備の推進
- ・文化財を地域全体で支え、地域の歴史や文化を活かした魅力あるまちづくりの推進

5 令和8年度の主な事業内容

() 内の額は前年度予算額

(1) 地域と学校の連携・協働

326,891 千円(333,167 千円)

(ア) 地域とともにある学校づくり推進事業

9,457 千円(10,189 千円)

「地域とともにある学校づくり」に向けて、コミュニティ・スクールの運営支援や、地域資源を生かした教育活動の実施など、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進します。

【主な事業内容】

- 全市立学校での学校運営協議会の実施（毎年度）
- コミュニティ・スクール連絡会の実施（毎年度）
- 保護者・地域住民等が参画する学校評価の実施（毎年度）

(イ) 地域の寺子屋事業

152,034 千円(177,794 千円)

地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めることを目的に、すべての市立小・中学校での実施を目指して、地域が主体となった放課後の学習支援と、土曜日等の体験活動を行う「地域の寺子屋事業」を推進します。

【主な事業内容】

- 地域の寺子屋事業の実施（毎年度）
- 寺子屋先生養成講座の開催（毎年度）
- 地域の寺子屋推進フォーラムの開催（毎年度）

(ウ) 地域教育活動等の推進事業

56,929 千円(49,026 千円)

地域教育コーディネーターの委嘱等により、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力と学校の教育活動をマッチングし、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援します。また、「川崎市子ども会議」等の充実による子どもの育ちや意見表明を促進します。

【主な事業内容】

- 地域教育会議の実施（毎年度）
- 川崎市地域教育ネットワーク推進会議の開催（毎年度）
- 川崎市子ども会議の開催（毎年度）
- 子どもの泳力向上事業の実施（毎年度）

(エ) 朝の居場所づくり推進事業

22,264 千円(R8 新規事業)

保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の人材を活用し、小学校の始業前から児童を受け入れる「朝の居場所」づくりを進めます。

【主な事業内容】

- 朝の居場所の開設（R8 年度～全校設置に向け順次拡大）

(オ) 学校施設有効活用事業

86,207 千円(96,158 千円)

特別教室等の開放拡大に向けた調整等を行うとともに、予約システムやスマートロック等を活用した利便性の向上、資産マネジメントの視点による新たな活用に向けた検討、施設開放の地域による持続可能な運営体制への移行支援など、学校施設の更なる有効活用を推進します。

【主な事業内容】

- 特別教室等の開放拡大（毎年度）
- みんなの校庭プロジェクトの実施（毎年度）

(2) 生涯学習の推進

5,340,646 千円(3,587,676 千円)

(ア) 社会教育振興事業

39,242 千円(52,256 千円)

市民館を地域における「生涯学習の拠点」として魅力的な場とするとともに、市民の自主的・主体的な学びを支援していくため、学級・講座やイベント等を実施・開催するとともに、学習と活動がつながる好循環を生み出し、学習や活動を通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めます。

【主な事業内容】

- 社会参加・共生推進学習事業の実施
識字学習活動、社会人学級、障害者社会参加学習活動他
- 市民自治基礎学習事業の実施
平和・人権・男女平等推進学習、青少年教室事業、成人教室事業、シニアの社会参加支援事業、家庭・地域教育学級、市民館等保育活動他
- 市民学習・市民活動活性化学習事業の実施
市民自主学級、市民自主企画事業、市民エンパワーメント研修、市民講師事業、「地域の寺子屋事業」に関する研修等事業、学習情報提供・学習相談事業他
- 市民・行政協働・ネットワーク学習事業の実施
各行政区・中学校区地域教育会議推進事業、課題別連携事業、学社融合推進事業、地域学習・文化団体連携支援事業
- 現代的課題対応学習事業の実施
地域コミュニティ交流・学習事業、現代的課題学習事業他
- 視聴覚教材の活用等学習環境整備事業の実施
- 大学等高等教育機関との連携促進

(イ) 図書館運営事業

803,452 千円(889,248 千円)

市民の読書要求に応え、市民の課題解決に役立つために、多様な図書館資料を収集・保存・提供するとともに、レファレンスの向上、インターネットやICTの活用、関係機関や学校図書館との連携促進などを図りながら、効率的・効果的な図書館運営をめざします。

【主な事業内容】

- 多様な市民ニーズに応え、市民の課題解決に役立つために、幅広く図書館資料を収集・提供
- 来館困難者や視覚障害者等への支援サービス実施
- レファレンスの向上やインターネット、ICTの活用
- 関係機関や学校図書館との連携促進
- 図書館の利用が困難な地域に向けた自動車文庫の巡回
- かわさき電子図書館の利用促進及びサービスの充実に向けた取組の推進（学校利用の拡大、協賛企業等の寄附を含めたコンテンツの拡充）

(ウ) 社会教育施設的环境整備事業

3,257,341 千円(1,708,713 千円)

市民の生涯学習や地域活動の拠点として、資産保有の最適化を踏まえた社会教育施設等の長寿命化を推進するなど、市民の生涯学習環境の充実を図ります。

【主な事業内容】

- 既存施設（労働会館）の活用による川崎区の市民館整備に向けた工事等の実施
- 鷺沼駅前地区市街地再開発事業に伴う宮前市民館・図書館の移転・整備に向けた設計や管理運営計画の策定作業等の実施
- 社会教育施設の長寿命化等に向けた計画的な施設整備の推進
- 幸市民館・図書館の計画的な整備に向けた工事等の実施
- 新百合ヶ丘駅周辺まちづくり推進事業（まちづくり局）と連携した、麻生区市民館・図書館の再編に向けて、基本計画の策定に向けた取組の推進

(エ) 家庭教育支援事業

2,188 千円(2,238 千円)

地域全体で家庭教育を支える環境づくりを進めるため、家庭の役割や子育ての重要性を学び、親同士の交流を促進する学級・講座等を実施するとともに、PTA等による家庭教育に関する学習活動を支援します。

【主な事業内容】

- 市民館等における家庭・地域教育学級等の家庭教育に関する学習機会の提供（家庭・地域教育学級は、社会教育振興事業費）
- PTAによる家庭教育学級開催の支援
- 全市・各区「家庭教育推進連絡会」の開催による関係者間の情報共有の推進
- 地域団体や企業等と連携した取組の推進

(オ) 文化財保存・活用事業

513,239 千円 (89,619 千円)

市民の郷土に対する認識を深め、地域の人々の心のよりどころとして、文化の向上と発展に貢献するため、歴史の営みの中で、自然環境や社会・生活を反映しながら、育まれ、継承されてきた文化財の適切な保存と活用を進めます。

また、古代川崎の歴史的文化遺産を後世まで継承するため、市内で初めて国史跡に指定された「橘樹官衙遺跡群」（橘樹郡家跡と影向寺遺跡）の保存整備・活用・調査研究を進めます。

【主な事業内容】

- 川崎市文化財保存活用地域計画に基づく文化財の調査・保存・活用事業の推進
- 指定文化財の保存修理等の実施
- 地域文化財顕彰制度の運用
- 文化財ボランティアの育成・協働調査の実施
- 埋蔵文化財の発掘調査等の実施
- 埋蔵文化財保存・活用施設の整備
- 橘樹官衙遺跡群調査整備委員会の開催
- 橘樹官衙遺跡群とその周辺における史跡めぐり等活用事業の実施
- 市民との協働による史跡等環境整備・維持管理の実施
- 橘樹官衙遺跡群の全容解明等に向けた調査・研究の推進

(カ) 社会教育関係団体等への支援・連携事業

167,673 千円 (162,673 千円)

市内の生涯学習環境の充実のため、生涯学習財団や主体的に活動する社会教育関係団体に対し、市民の生涯学習に資する事業や取組について、補助金の交付、協働での事業実施、助言等を行います。

【主な事業内容】

- 関係団体との協働や他都市との交流事業など、各種生涯学習機会の提供の支援
- シニア活動支援事業への支援
- 市民のニーズに応じた多彩な体験講座等の実施への連携
- 全市的な生涯学習情報の収集と効率的な提供に向けた情報提供システム構築の支援、連携

(キ) 博物館管理運営事業

557,511 千円 (682,929 千円)

国・県・市の指定文化財 25 件を有する日本有数の古民家の野外登録博物館である「日本民家園」を運営し、その貴重な文化財を適切に保存・活用し、市民の文化・学術・教育の充実を図ります。

また、市内唯一の自然科学系の登録博物館である「青少年科学館」（かわさき宙と緑の科学館）を運営し、自然・天文・科学の各分野において、市民への科学知識の普及啓発や科学教育の振興を図ります。

【主な事業内容】

- 文化財建造物・民俗資料等の保存・整理・調査研究及び補修（屋根補修、耐震補強等）の推進
- 自然・天文・科学の 3 分野における資料収集・展示・調査研究・教育普及等の博物館活動の充実
- ボランティア、市民活動団体等の育成・支援と体験学習の推進
- 生田緑地内の文化施設をはじめとする多様な団体や関係機関と連携した取組の推進

「社会教育委員から市民へのメッセージ」

川崎の生涯学習社会を実現するために

「人生100年時代」と言われるようになり、ますます生涯を通じた学びの重要性が高まっております。川崎市では、様々な場面において生涯学習活動を推進しているところですが、「生涯学習」や「社会教育」と言った言葉になじみのないことも、わかりにくさを生んでいます。そのため、「生涯学習」や「社会教育」について身近に感じていただきたいという思いから、私たち令和4・5年度社会教育委員のメッセージをまとめました。

このメッセージは、何か一つの考えを押し付けるものではなく、社会教育委員一人ひとりの考えをまとめたものであり、「市民の学びを支えていきたい」という願いを込めております。

このメッセージが、生涯学習活動に関わるきっかけになれば幸いに思います。

1 予測が難しい現代に求められる学び

- (1) 生涯学習は、自らが自由で主体的に学ぶことです。例えば、普段の生活の中で、花を育てている方がいて、その方との会話の中で花の育て方や品種など、自分の知らなかったことを学んでいます。私たちはそういったことも生涯学習であると考えています。身の回りのいろいろな場面を見渡してみると、いろいろなことに気づきや学びがあります。生涯学習は市民にとってとても身近なものです。
- (2) 社会教育は、学びの環境を整えることであると考えています。例えば、地名の由来を知りたいと思った時に図書館では、調べるための役立つ資料をわかりやすく紹介した「パスファインダー」を利用することによって、地名の由来の他に関連する書籍を知ることができます。また、新しく音楽活動に参加したり、ボランティア活動を始めてみたいといった時に、市民館ではサークル活動の紹介を行っていたり、ボランティアの養成講座を行っていたりします。このように、川崎市では市民が学びたいと思った時に学べる環境を整えており、それらを社会教育活動であると考えています。
- (3) 今の社会は、急速な技術革新や気候変動、国際情勢の変動など、変化が激しく複雑さを増しており、将来の予測が困難な時代です。デジタル化が進行し、人工知能が発展を遂げる中で、何が本物で何が偽物か見分けが付きにくくなっています。そんな時代だからこそ、多様な人と交流し、子どもから大人まで世代を問わず学び、自分の頭で考え、行動することが必要であると私たちは考えています。

2 かわさきでの取組

- (1) 川崎市には、市民館や図書館をはじめ、青少年科学館や日本民家園など魅力的な社会教育施設がたくさんあります。これらの施設で行っていることは、「社会教育事業ガイド」にまとまっています。ぜひご覧になって、施設に訪れてみてはいかがでしょうか。
- (2) 川崎市には、青少年の健全な育成を図ったり川崎の文化の発展を行ったり、様々な地域の団体が市民の学びを支えるために活動しています。生涯学習社会を実現するために、行政だけでなく、地域の様々な団体等と一緒に取り組んでいくことが大切であると私たちは考えています。
- (3) 普段の気づきや学びを、深めるために、図書館で調べ物をしたり、市民館で行われる講座を受講し、いろいろな方とのつながりを持つことができたり社会の中には様々な学びの環境が整備されています。身の回りにあふれる学びと一緒に深めてみませんか

3 すでに学びは始まっている

- (1) 生涯学習はとても幅広い考え方です。何か新しいことに気づいたり、できることが増えていたり、学んでいたいたりしたらすでに皆さんの生涯学習活動は始まっているかもしれません。道端で見かけた花の名前を新しく知ったり、映画を見て新しい発見をしたり、私たちの回りを見渡すと、いろいろなところに気づきや学びがあります。あなたは最近どんなことに気づき、学びましたか？
- (2) もしあなたが「何かを始めたいけど、何をしたらよいかわからない・・・」と思っていたら、川崎の社会教育に関わるととてもよいタイミングです。市民館や図書館、青少年科学館や日本民家園など、あなたの学びを支える環境があります。
- (3) 市民館では子育て、ボランティア、サークル活動など様々な活動を行っています。あなたの気になる入

り口はどれですか？

- (4) あなたが学んだことは、他の人や地域にとって、とても価値があるものです。学んだことを日々の生活の中で活かし、地域の中で役立てることができるかもしれません。市民館はそんなあなたの学びを第一線で支えます。

生涯学習推進活動方針や私たち社会教育委員のメッセージをよりわかりやすく伝えるためにパンフレットを作成しました。そちらも併せてご覧ください。